

別府市の観光資源の活用による地域活性化について

経営学部公共経営学科 4年3組 10番 1740150103

小関隆志ゼミナール

神田雄飛

目次

はじめに	1
第1章 別府市の観光に関する現状、課題について	2
第2章 別府の観光に対する現在の取り組みについて	
第1節 別府市役所の取り組み	4
第2節 B-biz LINK の取り組み	6
第3節 大分県信用組合の取り組み	9
第4節 別府市長が参加する取り組み、NPO 法人の取り組み	10
第5節 それぞれが考える課題	11
第6節 取り組みに対する評価	11
第3章 これから必要になる取り組み	
(1) 外国人観光客に対する取り組み	13
(2) 国内の観光客に対する取り組み	14
第4章 まとめ	19
参考・引用文献・インタビュー協力者	21

はじめに

今回の研究は、温泉地、観光地として認知度の高い大分県別府市の観光資源の活用による国内外の観光客数、宿泊客数の増加に繋がるのかということ进行调查するという目的で行う。別府市の観光資源の活用により観光客が別府市でたくさんのお金を使ってもらえるようになることによって別府市がさらに活性化していくようになると考えており、今回の研究では観光客に楽しくお金を使って観光してもらうためにはどのような取り組みを行うことが必要なのかを重点的に考察していく。その中でも大分県において国際的な大イベントとして、2019年に日本でラグビーワールドカップがあり、大分県も開催地の一つとなっている。このことから大分県により国内のみならず多くの海外からの観光客が訪問してくることが見込まれると考える。そのため、試合会場の大分市の隣の別府市にも海外の観光客の訪問が今まで以上に多くなると考えられる。このことから今回の調査は国内の観光客に向けた取り組みだけでなく、海外からの訪問客に向けた取り組みの両方について調査を行う。国内、海外からの観光客に対して別府市の紹介や案内などを取り組むことにより訪問する際に別府市の何が有名でどこを訪問するべきなのか認知してもらうことによって他の観光客や地元の人々とのトラブルを避け、よりスムーズに観光を楽しんでもらうことができるようになり、お金を多く使ってもらえるようになるので、そのためには何が必要となるのか文献やウェブサイト、インタビューをもとに調査を行う。

また、構成としては第1章で別府市の近年の観光客数、宿泊客数、その割合など別府市の観光に関する現状についてのデータを紹介し、そこからどのような課題があるのかについて考察していく。第2章では、現在別府市で行われている観光客に向けた取り組みについてインタビューをしたり、資料を入手したりしたので自分で調査した活動を加えつつ第1節から第5節まで紹介し、どのような分野に現在それぞれの組織が力を入れて活動しているのか、現在どのようなことが課題で対策に取り組んでいるのかを考察していく。そして第6節でどのようなことに重点的に取り組んでいるのか、課題は何なのか総括をする。第3章では、これから別府市に観光客として来てもらうためにはどのようなことが必要となるのか、第1章で考察した課題について踏まえて国内の観光客向け、国外の観光客向けそれぞれ必要な対策について考察していく。そして第4章で全体のまとめをする。別府市の観光資源の活用による地域活性化には何が必要となるのかを第2章、第3章からまとめを行うという形をとる。

第1章 別府市の観光に関する現状、課題について

この第1章では、別府市の観光客数、宿泊客数など観光に関するデータから現状を読み取り、課題としてどのようなことが挙げられるのかについて考察していく。

別府市観光戦略部観光課による『平成29年別府市観光動態要覧』によると、総観光客数は8,806,878人で、日帰り客数は6,262,548人、宿泊客数は2,544,330人であり宿泊客の県外客比率は85.7%である。

このことから読み取れることとして、日帰り客数の割合が宿泊客数の割合よりもとて高く、別府市で宿泊してもらおう際のお金が日帰りによって使ってもらえる機会が少なくなってしまうことや、別府市以外の場所で使われたりするという課題が生じるようになって考えられる。その中でも九州以外の県や海外からの観光客が別府市に行った日に日帰りで自宅に戻ったり福岡県や熊本県など九州の他の地域も同じ日に観光しに行ったりした場合には別府市の温泉などの観光施設に滞在している時間は移動の時間もあるので少なくなってしまうことから別府市で宿泊してもらおうことが同時に別府市に長く滞在してもらえようになり、別府市の様々な施設でお金を使ってもらえるようになることを考える。また、日帰り観光客数と宿泊客数について2017年のデータから読み取れることについて述べてきた。

表1 年別宿泊客数推移

(単位：人)

年	宿泊客数
2012年	2,326,535
2013年	2,356,276
2014年	2,416,380
2015年	2,557,949
2016年	2,348,584
2017年	2,544,330

出典：別府市観光戦略部 観光課 『平成29年別府市観光動態要覧』

その中で表1を参照すると、「熊本地震の影響で減少した昨年からの反動増となった。」¹とあるように地震の影響があった2016年からの除き増加傾向にあるといえることを考える。このため、宿泊客数の増加のために別府市で行われている市や組合などの組織による様々な取り組み(第2章以降で説明)は効果があるということがいえるのではないかと考える。ま

¹ 別府市観光戦略部 観光課 (2018) 『平成29年別府市観光動態要覧』 p9
www.city.beppu.oita.jp/doc/sangyou/kankou/toukei_h29toukei.pdf

た、災害が生じた際には観光客数が減少してしまうということは宿泊客数の減少につながり観光地にとって打撃となってしまうということが分かった。2012年から着実に宿泊客数が上昇していたが2016年に熊本地震が起きた際には2012年の宿泊客数付近まで落ち込んでしまった。しかし、2017年には熊本地震の前年と同じくらいの宿泊客数まで回復していることから、災害が生じた際のフォローができていているということがいえると考える。

また第2章で紹介するが、2019年はラグビーワールドカップがあり別府市でも観光客、宿泊客の増加が見込まれると考えられるので、宿泊客に対する取り組みも行われており、宿泊客を受け入れる体制がより万全になっているので別府市の活性化のためにもっと宿泊客数を呼び込み、ラグビーワールドカップの後も継続して宿泊客数を高い水準で確保していくための取り組みを行っていくことが重要であると考ええる。

2017年の外国人観光客数に関しては、「このうち外国人観光客の数はおよそ59万7000人と前年より33%ほど増加していて過去最多となっています。」²とあるように増加傾向にあるということがいえる。増加した理由としては、『平成29年別府市観光動態要覧』によると大分からソウル間の航空機が2017年5月から毎日運航になったことによる韓国からの観光客の増加が海外からの観光客増加につながった。このように海外からの観光客の増加のためには交通機関などのインフラの面の充実が必要になると分かる。遠方からの訪問客のための交通手段の確保、整備を行うことにより別府市は行きやすい場所であるとアピールすることができるようになる。九州へ観光に行こうとしている人々に選択肢の一つとなることができるようになり、これまで移動手段などの問題で行くことを避けていた人も別府市に来てくれるようになると考えられる。また、先程宿泊客数の比較の際に述べたように来年にはラグビーワールドカップがあり大分県も会場になっている。このことから別府市にも出場国の人やファンなどより多くの海外からの観光客が訪問してくる可能性が大いにあるので外国人観光客の人々に観光施設の訪問によりお金を使ってもらい、別府市が活性化していくための機会が増えるようになると考える。

この第1章から、別府市を訪問する観光客の数は上昇傾向にあるが宿泊客数が日帰り観光客数に比べ少ないので宿泊客数をいかに多く増やしていくのかということ、海外からの観光客の増加に向けた取り組みということについて研究していく必要があると考える。

² 別府市 外国人観光客が過去最多 | TOS ニュース | TOS テレビ大分
<https://www.tostv.jp/news/3308.html>
(2018年10月28日アクセス)

第2章 現在の別府市での取り組みについて

この章では、別府市で現在観光客に対して行われている取り組みや実際にインタビューを行い、課題などについて主に紹介していく。

第1節 別府市役所

別府市の観光の別府市役所観光課の有田氏に2018年8月24日にインタビューを行った。

(1) 現状、ターゲット層などについて

インタビューによれば、60代の人が一番観光に来ており、次いで20代の人が多く、全体の50%の方は温泉を目当てに訪問している。1泊のお客が80%を占めており、連泊をしてもらうということが課題となっている。国内向けの政策はすでにできていることから別府市の取り組みではWi-Fi環境の整備や外国人向けウェブサイトなど外国人向けの整備を行っている。

表2 外国人観光客数上位5カ国（単位：人）

1	韓国	329,680
2	台湾	89,664
3	香港	62,598
4	中国	50,447
5	タイ	18,778

出典：別府市観光戦略部 観光課 『平成29年別府市観光動態要覧』を基に作成

表2から分かるように、現状としては別府市を訪問する外国人観光客は日本の近隣国からの訪問が多い。インタビューによれば、欧米豪の人々を主なターゲット層にしており、他の地域の国も継続して誘致をしている。第2節で紹介するB-biz LINKが行った『欧米豪からの訪日外国人旅行者動向及びニーズ把握のためのアンケート調査結果（2018年6月1日～6月30日実施）』によると、居住国で一番多かったのはアメリカで、次いでフランスとオーストラリアからの訪問客が多く、年齢層は20代30代が半数以上を占めている。

ラグビーワールドカップに関連して海外の学生ラグビー選手の誘致やキャンプ地としての誘致のための整備、イギリスのバース市と姉妹都市交流などの国内外の人々にラグビーワールドカップ、別府市の周知の取り組みをしているということが分かった。

(2) 宿泊施設に関して

別府市が市として大きいホテルなどの誘致をしているわけではない。別府市の面積があ

まり広いというわけではないのでもともとある旅館などの宿泊施設との競合が起こる可能性があるが、外国人向けの対応が旅館などでは難しいので外国人観光客は大きなホテルに宿泊するなどの部分で共存ができることが分かった。

(3) 別府市と地域との協働について

別府市民の職業従事者の 8 割が第 3 次産業に従事しており、別府市は観光で成り立っているまちである。旅館やホテルなどと一緒に海外の商談会に出向いてプロモーションを行っていたり、地元の伝統的なお祭りなどイベントへの補助金やサポートを行っていたりしている。旅館ホテル組合や、地獄組合、観光協会などの様々な団体と密接に関わりを持っており、協働して別府市の観光の発展のために活動をしているということが分かった。

(4) 別府市として特に力を入れている部分について

関東圏の周知のために「湯～園地」のプロモーション動画が挙げられる。「湯～園地」とは、別府市の“遊べる温泉都市構想”の一環として YouTube で 100 万再生をした際には温泉と別府市のラクテンチという遊園地にあるジェットコースターなどのアトラクションを組み合わせた「湯～園地」を実現するというイベントである。³期間限定でもともとある遊園地に温泉の要素を組み合わせ、この動画では制作費約 400 万円で 100 億円のメディア露出といった経済波及効果を実現した。このように少ない費用で大きなメディア露出などの莫大な広告宣伝効果を発生させるという取り組みを行っている。

また、外国人向けの体験型アクティビティを作成しているということが挙げられる。別府市の特産物の一つである竹細工作りや、湖や森でのアスレチックなどを企画することで別府市に外国人観光客が長く滞在してもらえるようになるための取り組みであるといえるところである。また、別府版 DMO (デスクティネーション・マネージメント・オーガニゼーション) を創出することが挙げられる。観光物件や食べ物、芸能、自然などの観光資源に精通して地域と協働して地域作りを行う法人の活動を始め統計、分析やインバウンド事業に取り組んでいる。詳細の説明は次の節に行う。

(5) 別府市役所でのインタビューのまとめ

今回のインタビューから、別府市として海外の中でも特に欧米などの訪問客を対象に様々な団体との協働を行うことによって訪問してもらい、できるだけ長く滞在、宿泊してもらおうようになるための活動を行っているということが分かった。また、課題としてはより多

³ 100 万再生で本当にやります！別府市・湯～園地計画！“1 Million Views Make it a Reality!” Beppu City Spamusement Park Project! - YouTube
<https://www.youtube.com/watch?v=UbMmhQYoAsM>
(2018 年 11 月 27 日アクセス)

くの交通手段の確保、低コストで高リターンの別府市のプロモーション活動を行っていくためのアイデア、広範囲に観光施設があることによる観光のためのルートの確立という対策の必要があると考える。

第2節 一般社団法人別府市産業連携・協働プラットフォーム B-biz LINK

B-biz LINK とは、別府市の出資による組織で、外国人観光客に対する観光マーケティング調査や人材育成、ビジネスマッチングなどに力を入れている組織である。⁴2018年8月29日に小島氏、河村氏にインタビューを行ったことについて紹介していく。

(1) 交通手段について

海外からの観光客は一般的に全国の主要空港から「ジャパン・レール・パス」というものを使い電車で観光地へ向かうということが分かった。「ジャパン・レール・パス」とは、JRグループが提供する外国から観光に来た人のみが条件付きで購入できる乗車券のことである。⁵別府市に関しては、福岡から大分へ高速バスや電車をつかって訪問に来ることが分かった。B-biz LINK の『欧米豪からの訪日外国人旅行者動向及びニーズ把握のためのアンケート調査結果（2018年6月1日～6月30日実施）』によると、欧米豪の訪問客の日本における滞在日数は1～2週間の人が多く、出入国空港は成田国際空港で行く人が訳半数を占めており、関東から別府市へ「ジャパン・レール・パス」を活用して他の地方を観光しながら訪問しに来ているということが考えられる。別府市への他の交通手段としてフェリーがあるが、実際には観光客の認知がまだまだ低く、フェリーの利用に関しては認知度向上へ取り組んでいくことが必要となっている。

(2) 外国人の方への認知、訪問してもらうための取り組み

ENJOY ONSEN という完全外国人向けの温泉に特化したウェブサイトを作成しているということが挙げられる。人の目に触れるように広告活動を重視し、温泉に興味を持っている外国人の方の検索にかかりやすいようにしている。旅の情報に答えることにより得た情報を政策に活用することができるようになる。

また、ストレスなく観光施設を回ることができるようにタトゥーがあっても入ることができる温泉などを紹介するパンフレットなどによって予めトラブルが起きることがないよ

⁴ B-biz LINK の事業内容、概略 | 大分別府の観光・ビジネス支援 B-biz LINK
<https://www.b-bizlink.or.jp/concept>
(2018年11月27日アクセス)

⁵ JAPAN RAIL PASS とは? | ジャパン・レール・パス | JAPAN RAIL PASS
http://japanrailpass.net/about_jrp.html
(2018年11月27日アクセス)

うな取り組みを行っている。別府八湯めぐりの外国人版の作成によって温泉巡りの奥深さを知ってもらうようになる。

(3) 海外の別府市に対する認知について

現在別府市は東アジアでは認知されているが、東南アジアでは認知は一部である。そのため、別府市にあり留学生の多い立命館アジア太平洋大学の卒業生が観光展に出展をするなどの取り組みを行っている。

欧米に対しては現地で PR 活動を行っている。海外の人に認知してもらうための手段として、Google や Facebook の運用広告で PR することが挙げられる。その中でも、日本に興味を持っている外国人に向けて行うことにより別府市にも興味を持ってもらい、認知度の向上に繋がるようになる。また、2019 年のラグビーワールドカップに関してインパクトのある広告によって別府市に興味を持ってもらい、実際に何があるのか、観光する時に生じる不安な事柄を解消する説明のパンフレットを作成することによって認知から訪問という一連の流れを作ることができるようになる。

(4) 民間企業などとの協働について

「はらぺこクーポン」というクーポンがあり、購入することによって加盟店で便利に食事をすることができるようになる。

HARAPEK

Izakaya Beppu Coupon



1 Ippusha | 一風舎

The quality of meat is unlike any other at this retro Japanese pub.

[Addr] 1-5-8 Kitahama, Beppu City
[Tel] 0977-21-1012
[Open] 17:00~1:30 (OS 1:00)
[Closed] Mondays

[Menu contents] Beef platter, miso soup, rice and one drink (beer, soft drink, etc.)

お肉が美味しいレトロ日本的な居酒屋

西別府市北浜1-5 8 毎月曜日

[メニュー内容] 牛肉プレート、味噌汁、ご飯、ビールなどドリンク1杯



2 Urakeishu- inventive cuisine | 創作ダイニングウラケイシウ

A place where adults with a high sense of quality go to eat and play.

[Addr] 15-17 Motomachi, Beppu City
[Tel] 0977-25-2306
[Open] 17:00~23:30 (OS 23:00)
[Closed] Sundays

[Menu contents] Pork steak, salad, soup, rice and one drink (beer, soft drink, etc.)

高級感のある大人の雰囲気を楽しめるお店

西別府市元町15-17 毎月曜日

[メニュー内容] 豚肉ステーキ、サラダ、スープ、ご飯、ビールなどドリンク1杯



3 Ifudodo | 異風堂々

Even the biggest appetites will be satisfied from this izakaya's dishes.

[Addr] 1-27 Ekimaehonmachi, Beppu City
[Tel] 0977-22-1037
[Open] 17:00~23:00 (OS 23:30)
[Closed] Undecided [Menu contents] Lightly fried local chicken, deep-fried chicken, soy-marinated sashimi, fire-roasted chicken, edamame, miso soup, rice and one drink (beer, soft drink, etc.)

はらぺこも満腹になる充実のセット料理

西別府市駅前本町1-27 週不定休 [メニュー内容] とり天、唐揚げ、りゅうきゅう、焼き鳥、夜叉、味噌汁、ご飯、ビールなどドリンク1杯



4 MAEDA | 御食事処 まえだ

A place where you can enjoy authentic local food that is popular among the younger generation of people in Beppu.

[Addr] 8-15 Ekimaehonmachi, Beppu City
[Tel] 0977-22-9766
[Open] 11:30~14:30 (OS 14:00) / 17:30~22:00 (OS 21:30)
[Closed] Mondays [Menu contents] Lightly fried local chicken, mini soy-marinated sashimi rice bowl, simmered whole fish, egg custard, miso soup and one drink (beer, soft drink, etc.)

女性にも人気の本格的日本食を楽しめるお店

西別府市駅前本町8-15 毎月曜日

[メニュー内容] とり天、ミニりゅうきゅう丼、魚のアラ煮、ちゃんぽん蒸し、味噌汁、ドリンク1杯



5 WARAKU-Kakurega dining | かくれがダイニング和楽

A place where you can try local specialties of Oita prefecture.

[Addr] 11-4-7 Kitahama, Beppu City
[Tel] 0977-22-6177
[Open] 18:30~1:00
[Closed] Wednesdays [Menu contents] Lightly fried local chicken, fire-roasted chicken, soy-marinated sashimi, salad, and one drink (beer, soft drink, etc.)

大分の名物料理を存分に楽しめるセット

西別府市北浜11-4-7 毎月曜日

[メニュー内容] とり天、焼き鳥、りゅうきゅう、サラダ、ビールなどドリンク1杯



PARTICIPATING SHOPS INFORMATION

参加店舗



6 Sakaba SHIN | 酒場 慎

A warm and inviting local pub with delicious and authentic food.

[Addr] 12-1-22 Kitahama, Beppu City
[Tel] 0977-21-5252
[Open] 17:30~22:30
[Closed] Sundays

[Menu contents] Sashimi, lightly fried local chicken, salad, rice, and one drink (beer, soft drink, etc.)

安く美味しい人気の居酒屋

西別府市北浜2-1-22 毎月曜日

[メニュー内容] 刺身、とり天、サラダ、ご飯、ビールなどドリンク1杯



7 Kiippon Shinmiya dori shop | 生一本 新宮通り店

Here you can enjoy local fresh sashimi and local cuisine.

[Addr] 10-3 Motomachi, Beppu City
[Tel] 0977-23-2308
[Open] 18:00~3:00
[Closed] Sundays [Menu contents] Sashimi, lightly fried local chicken, thick noodle miso soup, one side dish and one drink (beer, soft drink, etc.)

新鮮な刺身と郷土料理を楽しめる人気のお店

西別府市元町10-3 毎月曜日

[メニュー内容] 刺身、とり天、だんご汁、一品料理、ビールなどドリンク1杯



8 Inshokugyo San no ura | 飲食業 3の浦

A shop with a stylish atmosphere that specializes in Oden and sashimi.

[Addr] 1-1-5 Kitahama, Beppu City
[Tel] 0977-23-2308 / 0977-51-5421
[Open] 17:00~24:00
[Closed] Undecided

[Menu contents] Oden (Japanese one-pot winter dish), sashimi, and one drink (beer, soft drink, etc.)

オシャレな雰囲気でおでんとお刺身を堪能

西別府市北浜1-1-5 週不定休

[メニュー内容] おでん、刺身、ビールなどドリンク1杯



9 Izakaya KANSHA | 居酒屋 感謝

This local pub is located in the shopping arcade and is popular among the locals.

[Addr] 1-3-19 Kitahama, Beppu City
[Tel] 0977-21-1696
[Open] 18:00~2:00
[Closed] Sundays [Menu contents] Lightly fried local chicken, chili flavored chicken, fried fish, sashimi and one drink (beer, soft drink, etc.)

商店街にある人気の居酒屋で美味しく1杯

西別府市北浜1-3-19 毎月曜日

[メニュー内容] とり天、チリチキン、フィッシュフライ、刺身、ドリンク1杯



10 Beppu Maruman | 別府丸万

This shop is known for its famous charcoal grilled chicken and is a must try when visiting the shop.

[Addr] 1-3-28 Kitahama, Beppu City
[Tel] 0977-26-2995
[Open] 18:00~1:00 (OS 24:30)
[Closed] Wednesdays [Menu contents] Charcoal grilled chicken, prepared cucumber, lightly fried local chicken, and one drink (beer, soft drink, etc.)

名物地鶏のもも焼き(炭火焼)は一度は食べておくべき逸品

西別府市北浜1-3-28 毎月曜日

[メニュー内容] 地鶏のもも焼き、きゅうり、とり天、ビールなどドリンク1杯



図 1 のように、それぞれのレストランについているマークを見ることによってどのようなサービスを受けることができるのか知ることができ、英語表記の説明を掲載することによって様々な国籍の観光客がレストランの情報を知ることができるようになる。

キャッシュカードやチケットなどキャッシュレスによって外国人観光客の売り上げの変化があるのかを調べることによってどのような形でお金を使ってもらいやすくなるのか知るための取り組みを行っている。また、地元のモスクと協力してムスリムの観光客向けにできるだけハラール認証に近い食材、料理を提供することによってムスリムの観光客も安心して食事をする事ができる飲食店の紹介を行っていることも協働の一例として挙げられる。

(5) B-biz LINK でのインタビューのまとめ

海外の観光客向けに対してウェブサイトの作成やパンフレットの作成、積極的な広告宣伝活動によって別府市の認知度向上、訪問に向けての取り組みを行っている。また、宗教上の理由やタトゥーが彫られているなどの日本人にはそこまで馴染みが深くない海外の文化を考慮した案内の取り組みを行うことにより海外の観光客が訪問した際にストレスを感じない、他の観光客や店とのトラブルが生じることがないようにするということができるようになる。このことは、海外の宗教、文化に熟知するために勉強をしたり実際にその国の人と協働をしたりすることが必要であると考えられる。

第 3 節 大分県信用組合の取り組み

大分県信用組合は、大分県内のほぼ全域に支店をもつ金融機関である。そのため、事業自体は大分県内全域に当てはまる事業となるが、今回はその中でも大分県信用組合別府支店で 8 月 29 日に訪問した光延氏から話を聞いた中で、別府市など観光地で利用が増えると期待されている民泊についての事業の紹介を行う。これから民泊を始める地元の人に対して資金のサポートを行うローンがある。

民泊事業を行おうとする人をサポートする中で、民泊事業を行っている百戦錬磨という企業と包括連携を締結した。⁶百戦錬磨という企業は、民泊予約サイト STAY JAPAN や農泊情報サイトなどのウェブサイトの運営などを行っている。⁷この大手民泊事業を行う企業

⁶ 大分県信用組合と包括連携協定締結、多数メディアに紹介されました | 株式会社百戦錬磨

https://www.hyakuren.org/20180508_news01/

(2018 年 11 月 28 日アクセス)

⁷ 事業内容 | 株式会社百戦錬磨

<https://www.hyakuren.org/service/>

(2018 年 11 月 28 日アクセス)

との連携により、地元の人で民泊を始めるための資金調達、民泊として登録し、世界に発信するためのサポートができるようになるため、スムーズに民泊事業を始めることができるようになる。

第4節 別府市長が参加する取り組み、NPO 法人の取り組み

「湯～園地」の計画の際に YouTube に動画を投稿したことが始まりとなったことに関連して、サントリーのボスという商品のキャンペーンで温泉のお湯を届けて動画を撮る『湯 Tuber』になろうというものがあり、その動画の中に別府市長が参加して『湯 Tuber』になろうと呼び掛けているというものがある。⁸別府市長が自ら動画に出演するということによる話題性によって別府市に注目が集まるようになり、興味を持ったり実際に訪れるようになったりする人が増えるようになると考えられる。

温泉の成分に関しては、「別府市の NPO 法人別府温泉地球博物館は、温泉の泉質を図で表した『別府八湯へキサダイヤグラム』の周知に努めている。」⁹とあるように図で表すということによって誰が見ても一定の理解ができるようになることになる。このことから自分の望む泉質の温泉に入ることができるようになり、訪問した観光客もより満足することができるようになる。

文献の調査による中では、井上（2011）によると、コミュニティ主導型博覧会事業の例として、別府市で活動している NPO 法人ハットウ・オンパクについて紹介されており、その中で体験型プログラムを地域の人や団体などが主体となり、地域資源を活用して行うためにハットウ・オンパクに参加する。井上（2011）によると、ハットウ・オンパクは、小規模であるが多彩なサービスを行うプログラムを提供しており、地域の人々や団体が参加する。また、特徴はプログラムがテストマーケティングの場になることができたり、人材育成、プロモーションの場になったりするということが挙げられる。プログラムの内容を NPO 法人ハットウ・オンパクが目を通すことや、地域を発展させたい人々を連携させる役割を果たしている。

⁸ ボス『湯 Tuber』篇 1分 46秒 サントリー - YouTube
<https://www.youtube.com/watch?v=wjrCvj2lfl4>
(2018年11月28日アクセス)

⁹ 温泉成分一目で納得 別府八湯へキサダイヤグラム - 大分のニュースなら 大分合同新聞プレミアムオンライン Gate
<https://www.oita-press.co.jp/1010000000/2018/11/22/JD0057536434>
(2018年11月29日アクセス)

第5節 それぞれが考える課題について

別府市が考える訪問してもらおう際の課題については、まず別府市に来るための交通手段が少ないということが挙げられる。新幹線が通っておらず、大分の空港の飛行機の本数が多くないということが課題となっている。交通手段が少ないと訪問する機会の減少の繋がってしまう。別府市での観光における交通手段の施策としては、『別府市総合計画 後期基本計画 2016▶2020』によると、二次交通手段としてワンコインバスの運用、実施を検討しているということが分かった。

関東圏では別府という名前のみしか知られておらず、関東圏へのプロモーション回数が少ないということが分かった。観光の際に生じる課題は、ルートの整備が必要となっているということが挙げられる。どうやって回るのかが明確になっていないと効率良く観光することができなくなってしまう。また、連泊する人の割合が少ないので連泊をしてもらおうようにするということが課題として挙げられた。一日当たりの日帰り客と宿泊客のお金を使ってもらえる額が大きく差があるので連泊してもらおうことによって多くのお金を使ってもらえるようになる。

B-biz LINK での課題は、まず言葉の問題が挙げられる。駅やホテルなどでは大体英語が通じるが、バスなどの公共交通機関や個人の旅館などのもともと外国人向けではない施設では言葉の壁が発生してしまう。また、距離の面での課題がある。都市部の空港から来る外国人観光客は東京から広島くらいまでの認識により、広島で帰ってしまう。そのため、九州の認知度が低く、広島辺りで帰ってしまう観光客をどのようにして別府市まで連れてくるのかということが課題である。

第6節 取り組みに対する評価

まず、観光客への認知のためにウェブサイト、YouTube などインターネットを活用したPR活動に力を入れていると感じた。インターネットを通じて世界中の人が別府市というのはどんな場所なのか知ることができるようになる。また、その際に話題性のあるアイデアによる企画を実施することによってSNS上などで影響力のある人が発信したりメディアに取り上げられたりするようになり、さらに多くの人に興味を持ってもらえるようになる。

外国人観光客が別府市を訪問した際に文化の違いによる地元の人や日本人観光客とのトラブルを前もって避けるためのパンフレット、クーポンを地元の飲食店や温泉施設と協働して作成することは日本語のあまり分からない外国人観光客にとって有効活用できるものである。外国人観光客全員に配布、販売することができるようになればどこに行けばいいの

か一目で分かり、ストレスなく十分に楽しむことができるようになると考えられる。

また、観光客を受け入れようとする地元の人々のサポートを行うことにより、観光客がさらに楽しむことができる環境作りには行政のみならず別府市全体で取り組むことができるようになると考える。そのため、様々な視点からどのようにすれば観光客に楽しんでもらえるのかについてのアイデアが出るようになる。その際には行政も率先的にサポートを行ったり、市民の要望などを聞いたりすることが重要であると考え。この点では、NPO 法人ハットウ・オンパクの事例が挙げられる。観光客に対しての活動をサポート、テストマーケティングの場を提供することで地元の人々の意欲やスキルの獲得に貢献しているといえる。

日本人観光客、外国人観光客両方とも認識することのできる「別府八湯へキサダイヤグラム」のような表などの作成によって注意書き、案内板などが多くあることによることで景観を損ねてしまうという危険を減らす役割ができると考える。共通に認識できることについては図を用いることができるが、外国では日本と違う意味に捉えられる表現もあるので、考慮して作成することができれば効果的にルールなどを伝えることができるものとなる。戸所（2010：17）によれば、「しかし、今日では多くの顧客が、量的満足感よりも提供されるサービスの質に重点を置いている。」とあるように以上のような分かりやすい説明など観光客のことを考えた活動を行うことは重要であると考え。

課題であると考えすることは、まず別府市までの交通の便があまり良くないということが挙げられる。また、そもそもフェリーについては交通手段としてあるということの認知もあまりされていない。観光客が訪問しようか考える段階で別府市までの交通手段が十分ではないという認識が訪問する段階で大きなマイナスの点となってしまうと考える。

また、別府市を主な目的地としてももらえるような取り組みが必要になると考える。観光客が九州を旅行したいという場合は別府市も目的地の一つとして考慮されると考えられるが、外国人観光客が日本を旅行したいと考える際に東京など都市部に注目されると別府市を目的地としてももらえる可能性が低くなってしまうと考える。そのため、日本に旅行したいと考えている外国人観光客に別府市を現在よりも更にアピールすることが必要になると考える。

連泊をしてもらった観光客の割合が低いということも課題として挙げられる。観光客が長く滞在するほど多くのお金を使ってもらえるので、連泊してもらうことが別府市の活性化に必要であると考え。別府市は温泉や地獄などが知られているが、その他の魅力となる点の認知がまだまだ十分になされていないことが長く滞在してくれる観光客の割合が高くない原因の 1 つであると考えており、別府市の他の魅力となる点についても積極的なアピール活動をしていく必要があると考える。

第3章 これから必要になる取り組みについて

この章では、現在の課題、将来的に別府市をもっと観光客にお金を使ってもらえるようになることについてどのような取り組みが必要になるのか第2章で説明した取り組みも踏まえて考察していく。

(1) 外国人観光客に対する取り組み

まず、外国人観光客に対しては別府市の地元の人々、別府市で働く人々に外国の語学、文化を学ぶ機会を多く創出していく必要があると考える。現代では翻訳アプリなどはあるが、観光客と円滑なコミュニケーションをとるためには自身が話すことで施設の改善点が見つかったり、観光客はストレスなく観光ができ、観光客も気になったことの質問をしやすくなったりするという点で重要であると考え。文化の面でもパンフレットを配ることであらかじめこの施設にはどんなルールがあるのかなどを知っておくことができるようになればトラブルを回避することはできるが、そのパンフレットがあることを知らなかった場合や、知っていたが貰ってはいない観光客がいる場合がある。その際に観光客の国がどんな文化なのか知っていたらこの施設ではこういったことがマナーであると説明ができたり、その人の国の文化に適した施設への紹介ができたりするようになる。日本のマナーや風習全てが外国のマナーなどと似ているわけではないので外国人観光客が普段自分の国でやっていることが日本ではマナー違反になってしまうという可能性がある。その際に文化について知っていたら迷惑な客だと思ってしまうにはならずそれは日本ではあまり良くないことだからと説明ができるようになり、施設内でのトラブルを避けることができるようになる。また、外国の文化を学ぶことによりその国の人に向けた新たなサービスを提供できるようになる。

パンフレットなどに関連して、外国人観光客向けの予約サイトを作成することが必要になると考える。パンフレットを利用してどのような食事を食べることのできる施設なのかについて情報を確認して入るということになるが、予めウェブサイトで予約をすることができ、その際に条件設定をすることができるようなシステムにすることで、残席の確認や自動で行きたい施設、実際に行く日に開店しているのか、空席状況などを厳選して調べることができるようになり、効率良く訪問することができる。手嶋・高橋(2016)によると、オープンテーブルという予約サイトを観光におけるレストラン予約の一例として挙げており、その中で顧客のメリットとして24時間いつでもウェブ予約をすることができることや、オープンテーブルは無料で世界のレストランを即時予約が完了させることができる。レストラン側のメリットとしては、電話予約が減ることにより他の業務に集中することができるようになったり、予約する顧客の情報がデータとして蓄積させていくことができるので情

報の整理やサービスの向上につなげることができるようになったりできることになる。以上のように、レストランのウェブサイト予約を海外の観光客が即時にできるようになることができることはメリットであるといえる。外国人観光客が日本のレストランを日本に出发する前などの早い段階に電話で予約することは時差を考えて連絡をしないとまず通じないということや対応する店員が観光客の言語を理解してコミュニケーションを完璧にこなして予約を確定させることになるという面で難しいと考えており、ウェブサイトから予約することができるということが重要であると考え。このような外国人観光客も利用できるレストランの予約サイトを別府市などのウェブサイトと連携することによって別府市について調べる外国人観光客が食事の面についても具体的なイメージを持つことができ、訪問の際にも希望するレストランで食事をするようになるものと考え。

B-biz LINK での事例でもあったように別府市には立命館アジア太平洋大学という大学があり、留学生の割合が多いことで知られている。留学生が観光展に出展してアピールをしているとあったが、留学生と市などが協力して留学生の出身国の PR 動画を作成し、別府市の公式サイトや旅行サイトに載せることが外国人観光客に向けてアピールすることができるものと考え。留学生の人は別府市のことも理解しており、自分たちの国の文化についても理解しているので、別府市の施設紹介の動画を作成する際にその国の文化に当てはめた説明をすることができる。そのため、訪問しようか検討している外国人観光客はその国の留学生の人が説明している動画を見ることによってイメージが湧きやすくなる。その際に場所の提供や編集のサポートなどを別府市や訪問施設で行うことでより詳細に分かりやすく伝えることができるようになるものと考え。

(2) 国内の観光客に対する取り組み

・移動手段について

国内の観光客向けに対しては、別府市に来てもらうためのアプローチを充実させることが必要であるものと考え。移動手段としてはまず飛行機で大分空港まで来て、そこから別府市まで車、バスで移動することで別府市を訪問することができる。その中でも、LCC という格安航空会社による便数の充実が必要であるものと考え。メリットとしてはとにかく安く飛行機での移動ができるということである。また、横見（2018：99）によると、LCC のビジネスモデルの一例の中で「機内サービス（飲食、機内誌、オーディオプログラムなど）を省略または有料とすることで費用の削減を図り、さらには座席指定や受託手荷物をオプション（別料金）とすることで基本運賃を安く設定している。」とある。そのため、サービスのクオリティの高さを求めるよりもとにかく安く飛行機で移動することのみを目的としている人はオプションなどを付けずに移動することができるようになる。このことは学生などの移動のためのお金をあまり使うことができない人もより気軽に訪問することができるよ

うになるので、現在ある LCC の便数を増やすことによって移動料金が訪問の障害となっていた人も別府市に訪問することができるようになる。また、電車での訪問の面も充実させることが必要であると考え。大分県に新幹線が通っておらず、他の新幹線が通っている地域よりも交通面で不便である。特急電車よりも早い新幹線を開通させ、別府駅に停車するように計画することで電車を交通手段として別府市を訪問しようという観光客にとって移動時間が短縮されるために訪問しやすい印象を与えることができる。しかし、他の地域に移動しやすくなることは同時に別府市に長く宿泊してもらう機会の減少に繋がる恐れもあるのでしっかりとした PR 活動、観光客に対する環境の整備などが必要であると考え。

・常設的にある観光資源の広報

また、他のアプローチとしては、「湯〜園地」などのアイデア性のある企画を行うことで観光客の周知や集客をすることももちろん重要なことであるが、常設的にあるものの PR をするということが重要であると考え。毎回独創性のあるイベントを企画するということは難しく、またイベントごとは期間が限定されているのでその時に観光客が多く訪問することになる。しかしイベントがないときには観光客数の増加は多く見込めるとは限らないのでもともとある地獄や温泉、それに関連した商品などの観光資源についての PR をし、認知してもらうことが重要になると考える。その中でも食べ物やアトラクションなどの温泉、地獄以外の PR をすることが重要であると考え。別府市で有名なものは温泉だという認知はされているが、同時に他のものも認知されることによって観光客が訪問しようとするようになるように考える。山田勅之（2018：68）によると、旅行会社のツアーの中でも、現在では自分たちでオーダーメイドして決めるダイナミックパッケージという形式があり、旅行会社も力を入れているとある。そのため、その土地に魅力があればあるほど観光客は訪問しようとするようになり、長く滞在しようとするようになるように考える。もともとある観光資源目当てにくる観光客の割合を増やすことができるような広報、宣伝活動を行うことができるようになると 1 年の観光客数の水準を高くすることができるようになるように考える。

・インターネットでの広報

宣伝、広報の際にテレビや新聞などのメディアのみならず第 2 章で説明した YouTube などの動画投稿サイトや SNS に投稿して話題を集めるということを継続してやっていく必要があると考え。松田（2018：7）によると、インターネットで旅行商品を販売する旅行会社が出てきて、即時予約ができるようになったとある。インターネットを活用して宿泊予約することができるようになったことよって旅行会社に行き話を聞いてどのような旅行プランにするのか決める他に自分たちで PR している部分や前に行った人のレビューを調べることどこを訪問しようか決めるという考え方も出てくるようになる。そのため、インターネットを活用し、積極的な PR を行うことで観光客が別府市に訪問するきっかけを与える

ことができるようになると考える。また、別府市の観光資源の PR をするためにメディアに取材に来てもらうことはもちろん重要だが、毎回取材に来てくれるとは限らない。テレビ番組や新聞記事だと放送する時間や記事のスペースが決まってしまう、十分に PR をすることができない可能性がある。また基本的にその日その時のみの放送になってしまい見ることができなかつた人は知らないで終わるということも十分に考えられる。

一方で YouTube などを活用することによってたくさん PR ポイントがある場合はその分長く撮影し PR することができるようになり、一度投稿した動画は消したり非公開にしたりしない限りは残るのでいつでもだれでも見ることができる機会を提供できることになる。そのため、YouTube や SNS などで別府市の魅力をこれからも PR することは広報活動として重要なことになると考える。現在は別府市の市長が YouTube の動画に出演するなど自ら PR 活動を率先して行っている印象があるが、今後別府市長が他の人に代わる時は必ず来るのでその際に新たな PR の方法があるのか、誰か影響力のある人を PR 活動の目玉として関心を集めるのか市の職員や地元の人々が協力して PR 活動に取り組んでいくのかなどのシステム作りをしていくことが必要となると考える。また、多くの人々の注目を集めるような動画を作成、投稿して別府市の PR をするためにはアドバイスをもらうことも必要となる。その中で再生回数やコメントを見ることで見た人がどのような印象を受けたのか知り、次に PR 動画を作成する時に役立てることができる。もしくは、動画を投稿する前に別府市に住んでいる人以外に見てもらい機会を作り、その意見を基に修正して投稿することも見やすい PR 動画作成に繋がる。

Instagram などの写真を投稿する SNS については、他の人に迷惑がかからないようにする対応をとりながら観光客に積極的に投稿してもらうことによって結果として友人などその人の周りの人々に別府市の施設や景色を PR してもらうことになる。別府市や様々な施設と関係を持つ組織が主催してハッシュタグにキーワードをつけて投稿してもらい、抽選で別府市の施設のクーポン券や特産品をプレゼントするといったイベントを行うこと、そのイベントを様々な SNS の広告部分に挟むなど積極的に PR することが SNS の活用の 1 つに方法であると考えられる。主催する組織が他の地元企業などと協働していたり関わりがあったりする組織であるべきだと考える理由は、予めお題とする施設などに撮影許可をとったり商品を景品として使用していいのか許可をとったりすることがしやすくなるからである。実際に Instagram を用いたキャンペーンを行う NPO 法人もあり、イベントの写真にハッシュタグをつけて投稿してもらうということを行っている。¹⁰このように観光客などが SNS

¹⁰ 『アニッシュ・カプーア IN 別府』 インスタグラム キャンペーン開始！ | news | BEPPU PROJECT
<http://www.bepuproject.com/news/2422>
(2018 年 12 月 23 日アクセス)

に写真や動画を投稿という形で参加をしてもらうことで思い出として振り返り、ハッシュタグを付けて投稿することで他の人の同じような投稿も見ることができ、思い出の共有をすることができる。毎回違うテーマをお題として投稿してもらうことによって訪問客があまり知られていなかった施設などを知ることができ、地元の人々も自分たちが推している部分と観光客が関心を持って写真を投稿している部分を比較することにより新たな魅力となる面を見つけることができるようになったりすることができる。

・食事の面の魅力の PR 活動

温泉や地獄以外の魅力を PR していくことについては、まず食事の面について PR することが挙げられる。一例を挙げると、別府市の東洋軒というお店のウェブサイトではとり天発祥の地として多くの人が県外からも訪問しているとある。¹¹このように、県外からの訪問客からも認知されているレストランがあることによって旅館の温泉に入るまでの時間を持って余してしまうことがなくなる。この東洋軒のように県外の人々にも認知されているレストランが増えるようになると観光客が別府市の魅力を更に感じるようになると思う。また、B-biz LINK の事例の時に述べたクーポンについても、掲載されているレストランはクーポンを見ることによって既にどのような店なのか知ることができるという役割を果たすと考える。今後はまだあまり認知されていないレストランをクーポンに多く掲載されることできるように連携をとることで観光客への認知度が高まるようになると思う。

・温泉、地獄以外の観光施設の PR 活動

次に、温泉、地獄以外の観光施設の PR について述べていく。NPO 法人ハットウ・オンパクの活動のように体験をすることによって別府市についてより深く知ることができるようになる。大人数での観光客に対しては、城島高原という施設がある。施設には日本初の木製ジェットコースターなどがあるパーク、ゴルフ場、結婚式もできるホテルがある。¹²このように家族連れは城島高原を訪問し、ジェットコースターなどのアトラクションを楽しんだり、会社の旅行で別府市を訪問する際にゴルフをすることができたりといった様々な観光客の年齢層、団体客に対応しているリゾート施設がある。多くの人が日中施設で遊び、夜に旅館やホテルの温泉に入り、とり天や別府冷麺などのご飯を食べる、という別府観光の一日のサイクルができるようになる。以上のような施設が多くあることによって様々な体験をすることができるようになり、長く滞在したいという気分になる。つまり、このような観光施設の種類が多くあることによって、観光客の観光プランの種類が多くなり、様々な年齢

¹¹ 元祖とり天ーとり天発祥の店 中華料理レストラン東洋軒/大分県別府市
<https://www.toyoken-beppu.co.jp/toriten/>

(2018年12月23日アクセス)

¹² 城島高原の魅力 | 城島高原 | 城島高原
<http://www.kijimakogen.jp/fascination/>

(2018年12月25日アクセス)

層の観光客が訪問するようになると思う。そのため、温泉以外の観光施設の PR 活動が重要であると思う。

最後に、これまでは別府市の観光資源に興味を持ち、長く滞在してもらうためには何が必要となるのかについて述べてきたが、休みの時間があまりなかったり、距離が遠かったりといった理由で別府市に来ることが難しい人に対して別府市の魅力を体験してもらうことも重要であると思う。他の地域にアンテナショップのような別府市の特産品などを主に提供することのできる店を出店することで地元にいながら別府市の食べ物などを買って興味を持ってもらうことができる。また、別府市のふるさと納税を活用することによって別府市に訪問することが難しい人でも別府市の食べ物などを体験でき、使ったお金が別府市の発展のためのお金となるという点で別府市の発展に重要であると思う。別府市の返礼品の例として、別府竹細工の製品や食べ物、宿泊補助券が挙げられている。¹³返礼品の中で興味を持つものがある場合にはもともと別府市と関係がない人も寄付をしようという気になるので、どのような返礼品が別府市を知ってもらうために必要か、これまで返礼品としていたものの中でどれが人気なのかを分析し、寄付の値段と返礼品のバランスを考えてより多くの人にふるさと納税してもらおうということが別府市に来ることが難しい人を対象とした活動で必要となることであると思う。また、寄付する人は寄付金を別府市にどのように使ってもらおうのか使い道を指定することができ、別府市では観光資源や環境などの整備、文化や芸術振興などいくつかの種類に分かれた使い道を示している。¹⁴この使い道を選択してもらうことによって寄付をする人は別府市に何を求めているのかわかるので政策の優先度を決定することの役立てることができると思う。

¹³ 大分県別府市[べっぷし]のふるさと納税で選べるお礼の品・使い道 | ふるさと納税[ふるさとチョイス]

<https://www.furusato-tax.jp/city/product/44202>

(2018年12月23日アクセス)

¹⁴ 大分県別府市[べっぷし]の使い道について | ふるさと納税[ふるさとチョイス]

<https://www.furusato-tax.jp/city/usage/44202>

(2018年12月23日アクセス)

第4章 まとめ

この章では別府市の観光資源の活用による地域活性化について別府市で行われている取り組み、何が必要となるのか、これまで述べてきた内容についてのまとめをする。

別府市で行われている取り組みは、プロモーション動画でのメディア露出による認知度の向上のための取り組み、体験型アクティビティの計画、外国人観光客が観光しやすくなるための説明のパンフレットやクーポンの作成などが挙げられる。このことは、別府市について知ってもらい、訪問の際にはストレスなく様々な体験をしてもらうという観光するための一連の流れをサポートする取り組みを行っていると考ええる。

何が必要となるのかについて、まず温泉や食べ物、特産物といった別府市の観光資源のPRを積極的に行っていくことが必要となる。インターネットの動画投稿サイトやSNSを駆使して話題性のあるPRを継続して行っていくことで別府市について観光客に知ってもらい、訪問してもらうことに繋げていくことが重要である。その際に見た人の意見を参考にして更に見やすい、クオリティの高いPRを行うことが必要であると考ええる。また、別府市役所とレストランや宿泊施設の予約サイトとの連携をとることによって検索しやすい、予約をしやすい環境にすることが必要である。

別府市と旅館やレストランなどの施設、市民が協働して観光客を楽しませる体験型の活動を行うことによって地域全体で観光産業を活性化させることに繋がる。また、協働する体制が整っていることによってスムーズな連携を行うことができるようになり、多種多様なサービスを提供することができるということを観光客に合うアピールすることができるようになる考える。

外国人観光客に向けた環境整備を行うことに関して、2019年のラグビーワールドカップを機会に訪問してくる外国人観光客に対応できるように取り組みを行うことによって日本人観光客や施設の人々とのトラブルを避けることができるようになる。日本との文化の異なる点があるので、そのニーズに合うような取り組みが重要となる。そして継続することによってラグビーワールドカップ後に訪問する外国人観光客にも楽しんでもらえるようになる考える。別府市民に外国の言葉や文化を学ぶ機会を作ることによって理解を深めることができるようになり、ストレスのない観光をすることができるようになる考える。PR活動を行う際に外国出身の人がPRすることによって外国人観光客と同じ目線で施設やイベントの説明を行うことができるので、日本人では気付きにくい外国人観光客が知りたい情報を提供することができるので、外国人出身の人を起用することが重要であると考ええる。

ふるさと納税を活用してもらうことについては、別府市を訪問することが難しい人も別府市の観光資源を体験してもらうために重要となる。別府市に関連した返礼品を提供することで寄付をする人は別府市を訪問する時間がなくてもどのようなものなのか知ることができ、別府市は寄付を受けることによって別府市に來れない人から別府市全体の発展のための資金を受けることができるようになるという点で重要となると考える。

一方で、課題として挙げられることとしては、まず交通面の整備がある。別府市へ行くための交通手段が多いほど観光客が訪問する機会が増え、観光客数が増加する要因の 1 つとなると考える。新幹線が通っていないなど他の地域と交通手段の種類に差があるので、その差を埋めることによって利便性の向上に繋がる。また、交通手段として存在しているがあまり認知されていないものがあり、観光の PR を行うウェブサイトなどでの積極的な PR 活動をする必要があると考える。

また、観光客にできるだけ長く滞在、連泊をしてもらうことが挙げられる。連泊をしてもらうためには、温泉以外の食べ物や観光施設の PR が必要である。食べ物だと、とり天の発祥の店があったりどのような物を提供するレストランなのか説明しているパンフレットやウェブサイトがあったりすることによって様々な種類の食事を認知してもらうことができるようになる。観光施設は城島高原のように多くの年齢層が楽しむことができる施設があり、より認知をされる必要があると考える。

参考・引用文献

- 1 別府市観光戦略部 観光課 (2018) 『平成 29 年別府市観光動態要覧』
http://www.city.beppu.oita.jp/doc/sangyou/kankou/toukei_h29toukei.pdf
- 2 別府市 外国人観光客が過去最多 | TOS ニュース | TOS テレビ大分
<https://www.tostv.jp/news/3308.html>
(2018 年 10 月 28 日アクセス)
- 3 100 万再生で本当にやります！別府市・湯～園地計画！”1 Million Views Make it a Reality!”
Beppu City Spamusement Park Project! - YouTube
<https://www.youtube.com/watch?v=UbMmhQYoAsM>
(2018 年 11 月 27 日アクセス)
- 4 B-biz LINK の事業内容、概略 | 大分別府の観光・ビジネス支援 B-biz LINK
<https://www.b-bizlink.or.jp/concept>
(2018 年 11 月 27 日アクセス)
- 5 JAPAN RAIL PASS とは？ | ジャパン・レール・パス | JAPAN RAIL PASS
http://japanrailpass.net/about_jrp.html
(2018 年 11 月 27 日アクセス)
- 6 大分県信用組合と包括連携協定締結、多数メディアで紹介されました | 株式会社百戦錬磨
https://www.hyakuren.org/20180508_news01/
(2018 年 11 月 28 日アクセス)
- 7 事業内容 | 株式会社百戦錬磨
<https://www.hyakuren.org/service/>
(2018 年 11 月 28 日アクセス)
- 8 ボス『湯 Tuber』篇 1 分 46 秒 サントリー - YouTube
<https://www.youtube.com/watch?v=wjrCvj2lfL4>
(2018 年 11 月 28 日アクセス)
- 9 温泉成分一目で納得 別府八湯へキサダイヤグラム - 大分のニュースなら 大分合同新聞プレミアムオンライン Gate
<https://www.oita-press.co.jp/1010000000/2018/11/22/JD0057536434>
(2018 年 11 月 29 日アクセス)
- 10『アニッシュ・カプーア IN 別府』Instagram キャンペーン開始！ | news | BEPPU PROJECT
<http://www.beppuproject.com/news/2422>
(2018 年 12 月 23 日アクセス)

11 元祖とり天ーとり天発祥の店 中華料理レストラン東洋軒/大分県別府市

<https://www.toyoken-beppu.co.jp/toriten/>

(2018年12月23日アクセス)

12 城島高原の魅力 | 城島高原 | 城島高原

<http://www.kijimakogen.jp/fascination/>

(2018年12月25日アクセス)

13 大分県別府市[べっふし]のふるさと納税で選べるお礼の品・使い道 | ふるさと納税[ふるさとチョイス]

<https://www.furusato-tax.jp/city/product/44202>

(2018年12月23日アクセス)

14 大分県別府市[べっふし]の使い道について | ふるさと納税[ふるさとチョイス]

<https://www.furusato-tax.jp/city/usage/44202>

(2018年12月23日アクセス)

・ B-biz LINK (2018) 『欧米豪からの訪日外国人旅行者動向及びニーズ把握のためのアンケート調査結果 (2018年6月1日～6月30日実施)』

・ 井上健二 (2011) 「コミュニティ主導型博覧会としての別府オンパク——コミュニティビジネスを生み出す観光事業」石井淳蔵・高橋一夫編『観光のビジネスモデル——利益を生み出す仕組みを考える』学芸出版社

・ 別府市 (2016) 『別府市総合計画 後期基本計画 2016▶2020』

・ 高橋一夫・手嶋雅夫 (2011) 「世界のレストランを即時に予約する (オープンテーブル)——ICTにより多様で確実な予約を手軽に提供」石井淳蔵・高橋一夫編『観光のビジネスモデル——利益を生み出す仕組みを考える』学芸出版社

・ 戸所隆 (2010) 『観光集落の再生と創生——温泉・文化景観再考』海青社

・ 松田充史 (2018) 『旅館が温泉観光を活性化する』大阪公立大学共同出版会

・ 山田勅之 (2018) 「旅行産業」竹内正人・竹内利江・山田浩之編『入門 観光学』ミネルヴァ書房

・ 横見宗樹 (2018) 「運輸産業」竹内正人・竹内利江・山田浩之編『入門 観光学』ミネルヴァ書房

インタビュー協力

・ 別府市 観光戦略部 観光課 観光政策係 有田 尚人様

・ 一般社団法人 別府市産業連携・協働プラットフォーム B-biz LINK

コーディネーター キャリアコンサルタント 小島 健一様

コーディネーター 河村 達也様

・ 大分県信用組合 別府支店 係長 光延 弘様